

Neues in Nara

Nr.49

2014年10月31日

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daijanji.or/jdgn/index.html>

編集: 林 (hayashiy@zeus.eonet.ne.jp) 峯本 (hmine-24@m3.kcn.ne.jp)



“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は編集委員へ”

●行事予定

1. クリスマス会

日時: 12月13日(土)17時~20時

場所: 和ダイニング「花小路」

参加費: 3,000円(学生2,000円)

ご家族、お友達をお誘いの上、多数のご参加をお待ちします(詳細、同封の案内チラシを参照)。

2. ポスター展「極端な時代における独裁と民主主義」

期間: 11月5日(水)~14日(金)

場所: 奈良県立図書館エントランスホール

当協会・県立図書館共催、大阪・神戸ドイツ総領事館後援で開催(ドイツ大使館からの冊子同封)。

3. 第7回シュタムティッシュ

日時: 11月16日(日)15:30~16:30

場所: 大安寺催事棟

林保之さんから、「お雇い外国人医師ベルツ博士の貢献」について話題提供を頂きます。参加申込・問い合わせは林まで(090-8168-4549、又は上記記載のメール)事前連絡無くても、当日お時間空きましたら、どうぞお出で下さい。

●行事報告

1. ビア・アーベント

恒例のビア・アーベントは7月26日(土)大安寺境内で行われ、天理・奈良教育両大学留学生や奈良日仏協会からの参加を得て総勢70名近くで、夏の一日を楽しんだ。



2. 独日文化交流英会研修生との交流

当会と長年の交流のあるマイト美智子氏(ケルン独日協会会長夫人)の提案を受け、来日中の研修生6名と8月28日(木)「花小路」にて懇親夕食会を催し、交流を深めた。

3. 第6回シュタムティッシュ

9月13日(土)大安寺にて開催され、加藤禎孝理事からハンス・モーリッシュ(元ウィーン大学総長)の「植物の実験・観察」が披露され、参加者みんなで「アガパンサスから細い糸の取出し」、「バナナの黒色化反応」、「五倍子から鉄タンニン酸インク作成」(左上の写真は出来上がった作品のお披露目)など3種の実験を楽しんだ。

●会員だより

会員の蓮池可奈子さんから

「心豊かな人格を育てるノンフォーマル教育(学校外教育)に触れて」

2011年11月20日から12月2日までの間、文部科学省主催の日独青少年指導者セミナーに参加し、ドイツにおける青少年教育と学校教育の連携について学ぶ機会を得た。当時ドイツでは、2000年のPISAショックやOECD学力テストの結果を受けて、移民や貧困層の言語能力向上させるため、2003年より保育所拡充や全日制学校を推進し、学校では育ち難い社会適応能力(コミュニケーション能力・自発性・責任感・問題解決力など)の向上や社会、政治への積極的参画・民主主義の発展を目指して支援するノンフォーマル教育(学校外教育)が注目を集めていた。

(写真: 前列右から二人目が筆者)



ドイツのノンフォーマル教育はEU内でも定評があり、青少年育成は国の未来を左右するとの見方も強いため、青少年団体の理事は仕事であっても活動に参加することが出来る名誉職として社会的に認められていた。また社会教育士やソーシャルワーカーといった専門家が学校や非営利組織の中で活躍し、子どもと家庭と学校、社会を精力的に繋げ、多彩な人格形成教育が行われていた。

しかし、ドイツでもユーロ危機が教育に深刻な影響を与えており、ミュンヘンにあるドイツ最大の青少年研究所

(DJI)でも、「全日制学校の需要は増えてきているが、問題は財源であり自治体の税制格差が教育格差に繋がっている」という話を伺った。ベルリンで行われた専門会議でも、2030年に日本経済は世界第5位(ドイツは7位)、2050年には両国ともさらに冷え込むと発表され、ニート・ひきこもりといった青少年問題を抱える日本においても民主主義の発展を促すノンフォーマル教育が一日も早く導入されることを心から願っている。

(編集者注: PISAは、OECD[経済開発協力機構]が進めている国際的な学習到達度調査のこと)

●新入会員の紹介

中山全広さん(橿原市)と小野由貴さん(天理市)が入会されました。